

第33回職業リハビリテーション研究・実践発表会 開会挨拶

ただいまご紹介をいただきました、J E E D理事長の輪島でございます。
本日は大変お忙しい中、多くの方にお集まりいただきまして感謝を申し上げます。

開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、「第33回職業リハビリテーション研究・実践発表会」にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本発表会は、職業リハビリテーションに関する調査研究・実践活動から得られた多くの成果を発表していただく機会を設けるとともに、ご参加いただいた方々による交流を通じて、研究、実践の成果の普及を図るために、平成5年から毎年開催しております。

今回で第33回を迎えることができましたのも、ひとえに関係者の皆様のご理解、ご協力の賜物であり、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

今日ご参加をいただいている全体の約半分は企業の方、半分は就労支援の方ということで、そういう多くの方が一堂に集うということは大変有意義な場なのではないかと考えています。

本日から二日間にわたり、特別講演やパネルディスカッションのほか、口頭発表、ポスター発表等、職業リハビリテーションに関する多くの発表がなされますので、これら様々な情報を今後皆様方の活動にお役立ていただければ大変ありがたいと考えています。

さて、近年の障害者雇用を巡る状況を見ますと、令和6年6月1日現在、民間企業での障害者雇用数は21年連続で過去最高を更新しており、着実な進展が見られているところです。一方で、障害者雇用促進法の改正、これは令和4年12月に行われましたが、雇用の質の向上に向けて職業能力の開発及び向上に関する措置が事業主の責務として追加をされて、職場定着や個々の力が発揮できる環境づくりにつながる課題解決、障害者本人のモチベーションの維持・向上等に向けた取組を行うことが求められています。

このような中で開催をする今回の発表会の内容が、ご参加いただいている皆様をはじめ多くの方々や地域の様々な場で活用され、障害者雇用の促進と職業リハビリテーションサービスの

推進に貢献できる機会になればと考えております。

また、特別講演とパネルディスカッションの撮影動画は、各発表資料と併せまして、年内にもJ E E DのN I V R（ナイバー）ホームページに掲載する予定ですので、参加の皆様の周りの方々にも広くご紹介していただければ大変ありがたいと考えております。

なお、皆様お気づきのことと思いますが、障害者技能競技大会、通称アビリンピックと申しますが、マスコットキャラクター、アビリスが登壇しております。

J E E Dでは、先月、愛知県国際展示場におきまして、第45回全国アビリンピックを開催いたしました。全25種目の競技に47の都道府県から401名の選手が参加をいたしまして、日頃培った技能を競い合ったほか、障害者ワークフェア2025を併せて開催をいたしました。こちら後日、J E E Dのホームページにてダイジェストの映像を掲載する予定ですので、是非ご覧いただきたいと思っております。

なお、この全国アビリンピックですが、令和9年5月にフィンランドで開催される第11回国際アビリンピックの選手選考を兼ねておりまして、年度末までに出場選手を決定する予定です。皆様には今後、この国際アビリンピックの選手の動向につきましてもご注目いただければと考えています。

最後になりますが、今回の発表会の開催にご協力を賜りました特別講演の講師、パネリストの皆様、口頭発表及びポスター発表の発表者の皆様、心より感謝を申し上げますとともに、本発表会が皆様にとって実り多いものとなりますよう祈念をいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

令和7年11月12日

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

理事長 輪島 忍